2005年10月発行

バイオディーゼルNEWS

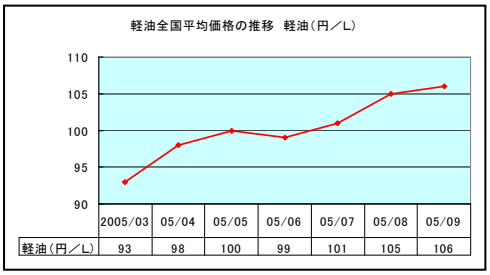
B-style
VOLUME 05

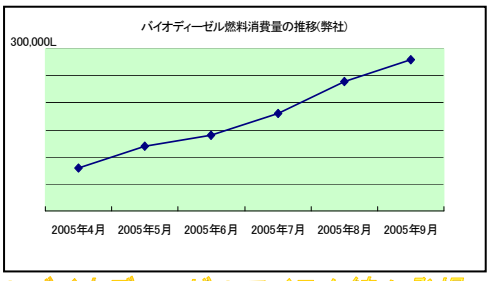
ついにバイオディーゼルの時代到来！

原油高騰の追い風を受け、バイオディーゼル燃料が爆発的普及

9月21日放送、NHK『クローズアップ現代』の「原油高が暮らしに迫る」という特集で、弊社ユーザーの静岡県の中駿自動車運送様が紹介され大反響を呼びました。また、宅配便大手の「ヤマト運輸」が、滋賀県にある宅急便センターで使用を開始。松下電器産業は、社員食堂から出る食用廃油を燃料化する取り組みを始めると新聞発表されました。

原油高騰に伴い、軽油の全国平均販売単価が8月には100円台（9月平均106円）を突破。その恩恵を受け、各地のEOSYS導入ユーザー様の燃料販売量が急激に上がり、装置はフル回転。これを機会にバイオディーゼル燃料を使用して頂いているユーザー様も倍増し、各方面からうれしい悲鳴が殺到しております。原油高はこのまま高止まりが続く見込みで、バイオディーゼルの需要は急激な右肩上がりで増えていくものと考えられます。今回は、特に多忙を極めている方を特集しました。





第6回明朗塾夏まつりにて製造プラント増設記念キャンペーン開催　社会福祉法人光明会　明朗塾

バイオディーゼル　大、大、大好評！！

製造プラント増設記念キャンペーンを、第6回明朗塾夏まつりで、行いました。大変多くの方にお祝いのお言葉とバイオディーゼルのご注文をいただきました。

キャンペーンでは、原油の高騰も伴って、新規顧客件数16件、なんと合計2,040リットル（ポリタンク102個分）のご注文をいただきました。

しかし、キャンペーンの前から売れて売れて仕方がなかったバイオディーゼル、キャンペーンでさらに注文をいただき、毎日200リットルを製造してもすぐに売れてしまいます。この売れ行きはとどまるところを知りません。本当に嬉しい限りです。

社会福祉法人　自立更生会　盛岡杉生園

なっ、なんと6,600L製造！

毎日、毎日装置2台を2回転してますが、これでも製造が追いつかない！原油高騰の影響もあり、今年度に入って新規の顧客が30件増えました。嬉しい限りですが、忙しくて大変ですよ！

今まで、「バイオディーゼルという名前は聞いたことはあるが、それほど関心がなかった」という方も、軽油の異常な値上がりにより、日に日にその注目度は、高まりを見せております。

現在、54台の車に供給しており先月は6,600L製造しましたが、毎月10件程度の問合せを頂いており、造っても造っても足りない状況が続いてます。

オリジナルバイオディーゼルアイテム続々登場！

続く原油高騰！運輸業界を直撃！

激しい運賃競争を繰り広げるトラック業界。安全規制の強化や環境対策などで新たなコスト負担を迫られているのに加えて、軽油の高騰が追い打ちをかけています。

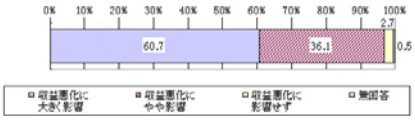
全日本トラック協会（東京）によると、軽油価格が1円の上昇で、業界全体でのコスト増は、１８０億円にものぼるといいます。担当者は「大手なら荷主との値上げ交渉もできるが、小さな業者はそれも難しく、廃業するところもある」と話しています。

１．軽油値上がりが収益に与える影響

■収益の悪化に大きな影響を及ぼす軽油価格の値上がり

軽油価格の値上がりにより、９割を大きく超える事業者が悪影響を受けており、トラック運送事業者の収益をさらに圧迫しています。

図表１　軽油値上がりの収益の悪化への影響



２．荷主への運賃値上げ交渉の状況

■現在、荷主に対して運賃交渉を行っているのは３割弱

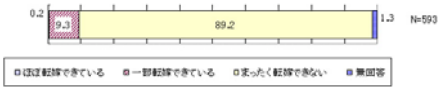
軽油の値上がりによるコスト増分について、約６割が荷主への転嫁を検討している。一方で、「交渉していない」とする事業者は40.3%みられる。その理由は、交渉しても無駄である、値上げは無理といった「あきらめ」が最も多い。また、競争が激しい中、交渉すると他業者に切り替えられるという懸念も大きい。

３．運賃転嫁の状況

■転嫁できている事業者はわずか

軽油の値上がりによるコスト増分を運賃に「全く転嫁できない」とする事業者は89.2%に上る。

図表２　軽油値上がりによるコスト増分の運賃転嫁の状況



原油相場、５年後に１バレル=100ドルにも

原油相場は２、３年後に１バレル＝70ドル、約５年後には同100ドルに達する可能性があるとの見方を示した。原油需要が世界的な供給を上回るペースで拡大するためとしている。

マクスウェル氏は、「原油相場が上昇する結果、高い相場水準の影響で人口の一部や一部企業が石油消費をやめる事態が今後生じると思う」とし、「これは需要の破壊と呼ばれ、すべての需要を満たすほど原油の供給がないため、原油高が石油の消費量を制限する役割を果たすことを意味する」と述べた。年内の相場については、指標となるニューヨーク市場の原油先物相場は年初来のレンジ付近である１バレル＝45－55ドルにとどまるとの見方を示した。ただ、「次の動きは上昇になるはずだ」と述べた。

またマクスウェル氏は、世界的な余剰生産能力が現時点で２％との見方もあるが、その大半は精製しにくい重油の高硫黄原油だと指摘。実際の余剰生産能力は恐らく0.5%との見方を示した。

BIO DIESEL NEWS　バイオディーゼルニュース　BIO DIESEL NEWS　バイオディーゼルニュース　BIO DIESEL NEWS　バイオディーゼルニュース

満足いただくことがサービス、将来を見据えた堅実な経営を実践

中駿自動車運送株式会社

当社は、原価を切るような運賃で仕事を引き受けることはありません。安全で高品質な輸送を行うには、最低限の費用が必要だからです。一時、他社の値引き攻勢によって仕事が減ることがありましたが、結局さまざまな問題が生じて当社に仕事が戻ってきました。その代わり当社は、ご依頼を受ければ、どんな方法や手段を講じてもお客様のニーズにお応えするように努めてきました。値引きすることがサービスではなく、お客様に満足いただくことがサービスなのです。業務の効率化を実現して、今後とも当社とお客様がWIN・WINのビジネスができるように取り組みたいと考えています。そのために社員教育も積極的に行ってきましたし、車両もつねにより良いものを導入してきました。

CO_2削減などの環境負荷低減や資源の再利用など、環境にやさしい取り組みとして、バイオディーゼルの導入をしました。排出ガス規制で代替した車両の支払いはまだ終わっていませんが、ついつい新しいことにチャレンジしたくなってしまうんですよ。ただこの時代、つねに情報を先取りして先手を打っていかないと、いつのまにか取り残されてしまいますからね。

バイオディーゼル装置は、昨年の11月に導入しました。最近の軽油の値上げは異常であり、燃費削減にもなり、いち早く導入して正解でした。食用廃油は、学校給食やスーパーなどから回収し、自社精製を行い自車トラックに使用しています。なんらトラブルもなく順調です。驚いたことに、日本経済新聞の一面やNHKにも取り上げられ、広告宣伝にもなり、益々事業拡大につながればよいと思います。

「ドライバーの方の声」

今までは、アイドリングストップ、急ブレーキ・急発進をしない等、燃料費削減のため色々してきましたが、燃料を製造するというのは驚きでした。

はじめは、本当に走るのか？坂道は大丈夫か？などいろいろ不安でしたが、走行しても軽油とぜんぜん変わらないし、燃費もいいよ！さらに、CO_2削減、排気ガスから出る黒鉛も少ない。とても気分がいいです。

社会福祉法人のみなさまへ
ご当地特産物の紹介特派員募集！！

地元の名品、特産物、珍品？食品から工芸品なんでも結構です。もちろん授産事業で作った商品など、皆さんが各地の特派員となりご紹介して下さい。

ご紹介頂いた商品は、弊社が関連する事業法人が運営するインターネット通販の大型ホームページで販売いたします。

北海道から沖縄まで、全国各地の社会福祉法人の皆様、たくさんのご応募をお待ちしております。

※内容詳細につきましては、担当・黒田までお問合せ下さい。

イメージ図